

## **I. 広東省**

### **1. 胡春華・省党書記、馬興瑞・省長がハーリー・豪ニューサウスウェールズ州総督と会談**

●15日午前、上記会談で胡春華・省党書記は次のように述べた。広東省は両国の指導者が合意した協力のコンセンサスを更に実行し、「一帯一路」建設を拠り所としながら、ニューサウスウェールズ州と相互の結びつきを強化し、経済・貿易、投資、科学技術、農業、文化、観光等の分野における協力を深め、中国とオーストラリアの友好に積極的に貢献していきたい（5月16日付『南方日報』）。

### **2. 全人代常務委員会の調査チームが広東省を視察**

●11日～14日、エリゲン・イミンバイ全人代常務委員会副委員長率いる調査チームが広東省を訪れ、華僑の権益保護に関する視察を行なった。一行は汕頭市（華僑経済文化協力試験区、開港当時のエリアの修復）と深圳市（イノベーション型企業及び華僑企業等）を視察。15日午前、広州市でその報告会が開催され、何忠友・副省長ならびに関連部門の責任者が状況を報告した（5月16日付『南方日報』）。

### **3. 広東省で商事登記システムが全面的に電子化**

●広東省工商局は15日から省全域の商事登記システム（第1期）を全面的に電子化することとなった。これは同局が推進する工商登記・登録の簡便化にかかる重要な措置である（5月17日付『南方日報』）。

### **4. 省長、副省長等による海外の賓客との会談・レセプション出席**

●16日、広州市で2017中国（広東）・スペイン投資・ビジネス協力フォーラムが開幕し、何忠友・副省長、マリア・ルイサ・ポンセラ商務担当副大臣が開幕式に出席するとともに、それぞれ挨拶を行なった（5月17日付『南方日報』）。

●17日、何忠友・副省長が在中国EU代表団副団長、ならびにEU加盟国10か国の在広州総領事館員と会談（5月18日付『南方日報』）。

●18日、何忠友・副省長がフィジーの工業・貿易・観光・土地・鉱物資源担当大臣一行と会談（5月19日付『南方日報』）。

●18日、陳雲賢・省政府組織メンバーが在広州イスラエル総領事館の招きを受け、建国記念レセプションに出席（5月19日付『南方日報』）。

●19日、馬興瑞・省長がウォン・カンセン・アセンダス・シンブリッジ会長（元シンガポール副首相）一行と会談（5月20日付『南方日報』）。

### **5. 省政府常務会議の開催**

●17日午後、馬興瑞・省長主宰の上記会議で、先頃、広東省で実施された中央第4環境保護監督・査察チームのフィードバックに基づく改善措置、汕頭市・潮州市・揭揚市の港湾・空港・鉄道経済協力区の計画・発展等について検討し業務手配（5月18日付『南方日報』）。

### **6. 省属国有企業改革・発展座談会の開催**

●17日午前、馬興瑞・省長主宰の上記座談会が開催され、現状報告・意見・提案を聴取し、省属国有企業の発展を制約している際立った問題の解決策について検討した。袁宝成・副省長も出席（5月18日付『南方日報』）。

### **7. 省党第12回代表大会の開催に向けた動き**

●18日、省党委員会主宰の省党第11期第9回全体会議が開催され、省党委員84人、同候補委員3人が出席し、胡春華・省党書記が講話を行なった。同会議では22日～26日に省党第12回代表大会を開催することを決定（5月13日付『南方日報』）。

●18日、省紀律検査委員会主宰の省党第11期紀律検査委員会第7回全体会議が開催され、省党第12回代表大会に向けた業務報告について審議（5月19日付『南方日報』）。

●19日午前、省党委員会が記者会見を開き、省党第12回代表大会準備作業指導グループの委託を受けた江凌・省党秘書長兼弁公庁主任が準備状況を伝えるとともに、省紀律検査委員会、省党組織部、省党統一戦線部、省党

政法委員会の責任者と一緒に記者からの質問に答えた（５月２０日付『南方日報』）。

#### 8. 広東・マサチューセッツ州クリーン・エネルギー産業投資協力交流会（東莞ステーション）の開催

● 19日午後、上記交流会が開催され、マサチューセッツ州クリーン・エネルギーセンターは10件のハイテク・クリーン・エネルギー産業プロジェクトを携えて東莞市を訪れ、協力を求めた。昨年末までの米国による広東省への投資プロジェクト数は5,046件、実行ベースの外資利用額は約85億米ドルだが、主に製造業に集中しており、科学技術・情報・環境管理といった生産的なサービス業における協力はまだ多くないため、大きなポテンシャルがある。なお、同省と同州は1983年に友好省・州関係を締結し、2016年5月に「友好・交流と協力関係を深めるための共同声明」に署名している（5月20日付『南方日報』）。

#### 9. 全国公安系統英雄模範・功績樹立集団表彰大会の受賞者代表との会談

● 19日、李春生・副省長兼公安庁長が先進的なグループ及び個人の代表を率いて、北京市で開催された上記表彰大会に出席。20日午前、省公安庁が広東省に戻ってきた代表たちを歓迎する式典を開催し、同日午後、胡春華・省党書記、馬興瑞・省長が彼らと会談し、受賞を祝った（5月21日付『南方日報』）。

### **II. 広州市**

#### 1. 広州市代表団が2017広州「フォーチュン」グローバル・フォーラムのプロモーションを開催

● 15日、蔡朝林・副市長率いる広州市代表団が台北で上記プロモーションを開催し、江丙坤・三三企業交流会会長（元海峡交流基金会理事長）、蔡副市長、チャンドラー・タイム誌編集主幹が挨拶を行なった。同地に進出している「フォーチュン」世界トップ500企業、リーディング・カンパニーの代表180人余りが出席。本年3月時点で、広州に進出している台湾企業数は計3119社に達し、投資総額は143億米ドルを超え、契約ベースで約94億米ドル、実行ベースで約78億米ドルとなっている。また、投資額が1億米ドル以上の台湾企業数は167社、広州市に常駐しているビジネスマン等は約2万人、雇用している従業員数は約20万人である（5月16日付『広州日報』、『南方日報』）。

#### 2. 任学鋒・市党書記が米PPGインダストリーズ社のマイケル・マガリーCEO一行と会談

● 17日、上記会談で任学鋒・市党書記は、広東省及び広州市の経済・社会発展状況について紹介し、同市におけるPPG社の事業展開をサポートし、相互に利益をもたらすウィンウィンを実現したいと述べた（5月18日付『広州日報』）。

※PPGインダストリーズ：米国を代表するガラス製品・化学製品・塗料の製造メーカー。

#### 3. 温国輝・市長が2017第2回国際（広州）幹細胞・精密医療産業大会の来賓代表と懇談

● 19日、温国輝・市長が、上記大会に出席するため広州市を訪れたクリストファー・ピサリデス教授をはじめとする来賓代表と懇談し、広州市が幹細胞・精密医療関連産業を発展させていくのをサポート・指導するとともに、引き続き市の関連部門との交流・協力を強化してもらいたいと述べた（5月20日付『広州日報』）。

※クリストファー・ピサリデス教授：専門は労働経済学。2010年ノーベル経済学賞受賞。キプロス人。LSE時代の指導教員は故・森嶋通夫教授。

#### 4. 「一带一路」研究院が南沙区に開設

● 19日午前、南方（南沙）国際生産能力及び技術協力センター・国家発展改革委員会国際協力センターの「一带一路」研究院が南沙区に開設し、除幕式が行われた。彭森・全人代財経委員会副主任委員、曹文煉・国家発展改革委員会国際協力センター副主任、蔡朝林・副市長兼南沙区党書記がそれぞれ挨拶を行なった（5月20日付『広州日報』）。

### **III. 深圳市**

#### 1. アーム（中国）が深圳市に拠点を設置

● 14日、北京市でアームと厚安イノベーション基金が深圳市での拠点設置に関する協力覚書に署名した。楼継偉・全国社会保障基金理事会理事長、李萌・科学技術部副部長、徐福順・国有資産監督管理委員会副主任、王偉中・深圳市党書記、孫正義ソフトバンク代表取締役社長、サイモン・シガース・アームCEO、方風雷・厚朴投

資董事長等が署名式に出席（5月15日付『深圳特区報』）。

●17日晚、王偉中・市党書記が孫正義社長一行と会談し、双方は互いの強みを補完し合い、ウィンウィンの原則に基づいて、アームが一日も早く深圳市で事業を運営できるようにし、同市が現代国際イノベーションシティ、国際科学技術・産業イノベーションの中心地になるよう手助けしていくことで合意（5月18日付『深圳特区報』）。

## 2. 王偉中・市党書記がゲオルゲ・ヤコベスク・カナリーワーフグループ会長兼CEO一行と会談

●14日午後、上記会談で双方は都市建設・運営、産業の転換・高度化、フィンテックの発展等の経験を共有し、「中国・英国フィンテック・シティ」プロジェクトを共に推進していくことで合意（5月15日付『深圳特区報』）。

●先頃、深圳市投資ホールディングス有限公司が、英国のシルク・ベンチャーズ、深圳市鑫根投資基金管理有限公司と「中国・英国科学技術起業投資基金」の設立に関する戦略的協力協定に署名した。張虎・常務副市長、ヤコベスクCEO等が署名式に出席（5月18日付『深圳特区報』）。

※シルク・ベンチャーズ（Silk Ventures）：中国政府の支援を受けて、2015年に設立されたベンチャーキャピタル企業。本社はロンドン。深圳市貿易・投資部門の欧州本部の機能も有する。設立当初は中国企業の欧州市場進出をサポートしていたが、14日に開催された「一帯一路」サミットで5億米ドルの資金を集めたことを発表し（その半分は深圳市国有資産監督管理委員会が出資）、今後は中国進出を狙うレイターステージのテック企業（AI、IoT、フィンテック、ロボット工学、医療技術等）を対象に投資していく予定。

## 3. 市党理論学習中心グループによる拡大学習会の開催

●17日午前、王偉中・市党書記主宰の上記学習会に、中国銀行業協会主席エコノミストの巴曙松・教授が招かれ、「一帯一路」の提唱と深圳・香港金融イノベーションについて考える：習近平・総書記の広東省に対する重要指示と“一帯一路”サミットで行なった講演の精神」をテーマとしたガイダンスを実施（5月18日付『深圳特区報』）。

## 4. 王偉中・市党書記が太原市代表団一行と会談

●17日午後、王偉中・市党書記が耿彦波・太原市長率いる同市代表団一行と会談した。双方は習近平・総書記による一連の重要講話の精神と政治運営の新理念・新思想・新戦略を深く貫徹・実行し、マッチングや交流を更に強化し、互いの経験を参照し合いながら比較優位を發揮し、実務協力を促進し、共に手を携えて全国の発展という大局に貢献していくことで合意（5月18日付『深圳特区報』）。

※王偉中・市党書記の前職は太原市党書記。